

## 医薬品等の安全性予測評価におけるネットワークパスウェイ解析

田邊思帆里・国立医薬品食品衛生研究所

生体細胞においては、多様な分子シグナルパスウェイが活性化することが知られている。医薬品等により変動する分子に関してデータベース等を用いてそのネットワーク変化を網羅的に IPA 解析し、医薬品等の安全性について検討した。医薬品等の投与により発現変化する分子をまとめ、細胞分子シグナル伝達パスウェイに関する分子ネットワーク上に変動情報をマッピングし、生体影響のアウトカムへ至るパスウェイを解析した。がんの悪性化や抗がん剤耐性・転移能獲得に関与することが知られているがん幹細胞及び上皮間葉転換(Epithelial-mesenchymal transition; EMT)等の細胞フェノタイプ変化における細胞シグナル伝達パスウェイモデルとコロナウイルス関連パスウェイ解析について紹介する。